

FUJITSU Network Proactnes II

ネットワーク運用管理ソフトウェア Proactnes II NM

CHECK !

<http://www.fujitsu.com/jp/products/network/carrier-router/networkservice/proactnes-nm/index.html>

「Proactnes II NM」は、大規模ネットワークの監視や運用管理を行う製品です。従来は基幹ネットワークやアクセスネットワークでそれぞれ独立に行っていたネットワークの運用管理を、一元的に監視し、運用管理業務を強力に支援します。さらに、「Proactnes II QM」と連携することで、機器の故障によるネットワーク異常の把握から、品質劣化などのネットワーク全体の状態を把握できます。

■ コア網からアクセス網までのネットワーク構成・機器

警報の一元管理

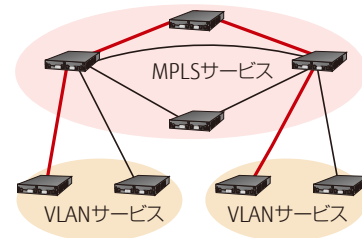
数十万台のネットワーク装置を監視可能であり、従来のProactnes/SNではコア網/アクセス網や各地域網ごとに分けていた監視システムを一つに統合することが可能になります。

■ エンドユーザ間の通信経路の見える化

複数のサービスに跨る経路を一元管理することにより、エンドユーザ間の通信経路の管理が可能になります。



複数のサービスに跨る経路をマップに表示



複数のサービスに跨る経路

ネットワーク品質管理ソフトウェア Proactnes II QM ネットワーク故障検知システム

CHECK !

<http://www.fujitsu.com/jp/products/network/carrier-router/networkservice/proactnes-qm/index.html>

「Proactnes II QM」ネットワークサービスで提供されるエンドツーエンドの packets 通信における体感品質(QoE: Quality of Experience)を管理する製品です。ネットワーク上のトラフィックを汎用サーバ上のソフトウェアで収集/分析し、品質の変化を検知することで、ネットワークサービスで提供されるWebサーバのレスポンスの速さなどのお客様が感じるネットワークサービスの品質管理を見える化し、高品質サービスの維持、サービス故障のすみやかな復旧を支援します。

■ リアルタイムにネットワーク品質劣化を検知

IPネットワーク、および仮想ネットワークの通信技術に対応したパケットキャプチャとパケット解析により、ネットワークの品質劣化をリアルタイムに検知します。

- 対応プロトコル: IP, TCP, UDP, ICMP

■ 品質劣化検知と箇所特定

ネットワークを通過するトラフィックを利用ユーザーごとにすべて分析し、品質劣化の発生を検知します。品質劣化の指標となるパケットロス率/遅延量の推移をモニタ表示できます。

品質劣化ユーザー、発生要因をリアルタイムに表示

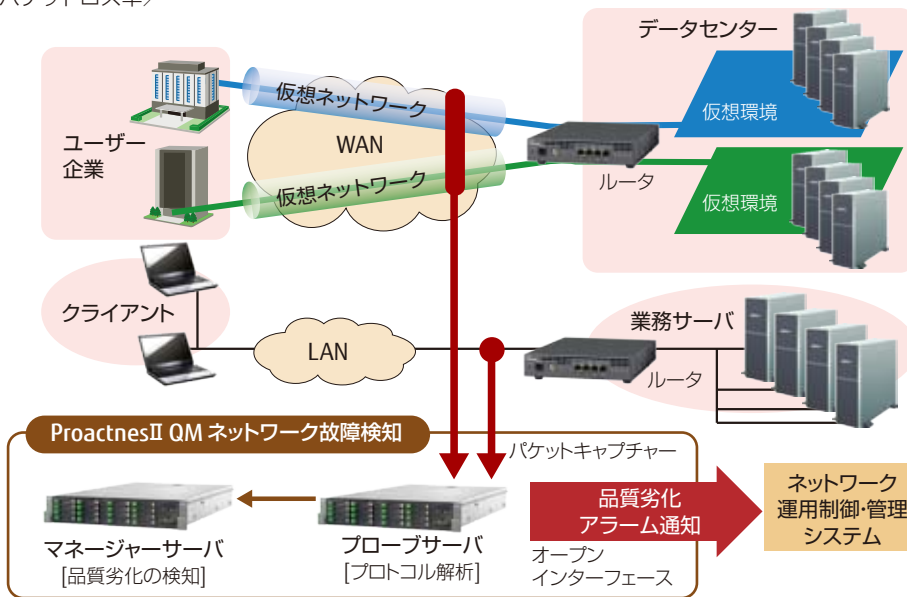


ユーザートラフィックの品質を時系列表示

■ オープンなインターフェースにより、ネットワーク運用制御・管理システムへの品質劣化

アラーム通知が可能です。これにより Proactnes II QM ネットワーク故障検知のアラーム情報をネットワーク運用や制御ヘフィードバックすることができます。

- 対応通知方法: syslog, SNMP Trap



広範囲の品質劣化を検知するには

トラフィックの集まる箇所をキャプチャすることで、広範囲の品質劣化を検知できます。

FUJITSU Software Systemwalker

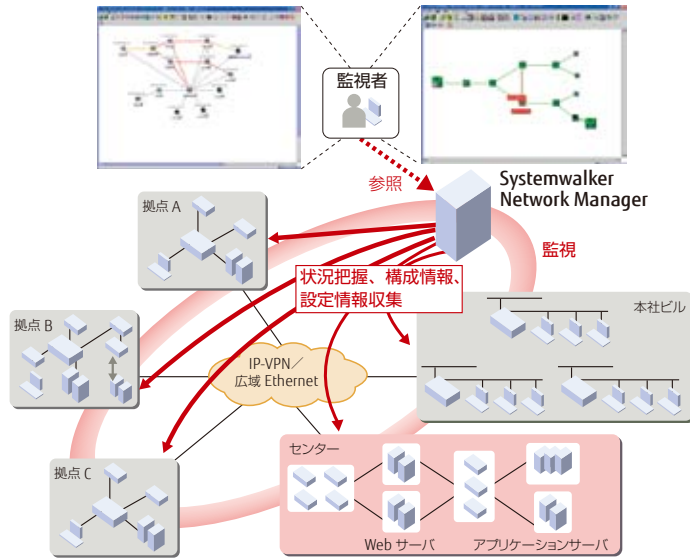
ネットワークの最適化・安定稼働を実現するネットワーク運用管理 Systemwalker Network Manager

CHECK !

<http://www.fujitsu.com/jp/software/systemwalker/netmgr/>

■ ネットワークの一元管理

「Systemwalker Network Manager」は、複数の拠点から構成される社内ネットワークをグラフィカルに可視化し、一元管理できます。障害発生箇所の切り分けを、即座に行うことができます。



■ 障害箇所の迅速な特定と対処

ネットワークノード障害、ポート障害、リンク障害や、VLAN障害、ネットワーク性能障害などをトポロジーマップ上で統合して管理可能です。発生した障害による業務への影響範囲をマップ上で一目で確認でき、障害検知から復旧までにかかる手間と時間を軽減します。メールで障害を通知することも可能です。

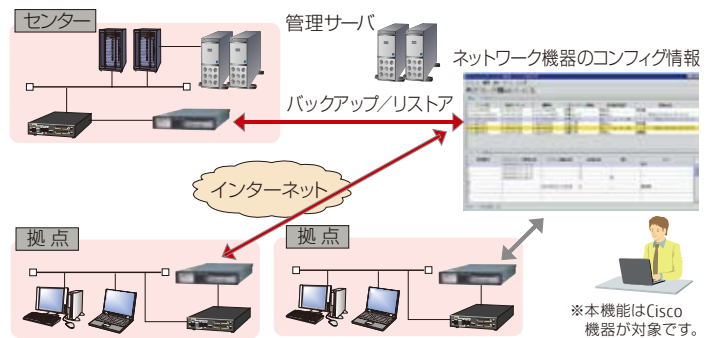


■ ネットワーク構成の的確な把握と可視化

ネットワーク構成情報収集により、システムを構築するルータ、スイッチ、サーバなどのネットワークの物理的な接続状態を把握し、グラフィカルに監視します。定期的なネットワーク構成情報収集で、冗長構成を用いた複雑なネットワークでも、監視対象ネットワークの構成変更を検出できます。

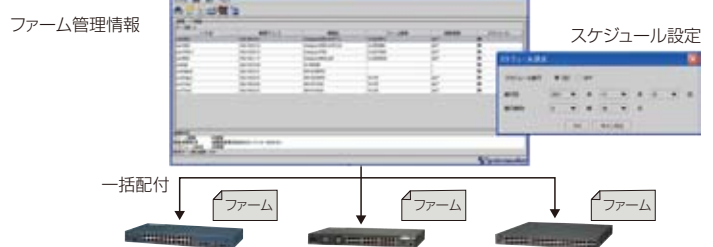
■ コンフィグ管理

ルータやスイッチのコンフィグ(設定情報)を、運用管理サーバ上にバックアップし世代管理できます。バックアップ時には差分チェックもできます。保管されたコンフィグは、機器故障復旧/機器交換時にリストアすることができ、再設定作業を容易かつ確実にこなせます。



■ ファーム管理

ルータやスイッチのファーム版数の管理と一括更新が可能です。個々の機器ごとにオンデマンドでのファームアップ作業はもちろん、複数機器に対するセキュリティ修正適用のスケジュール設定による一括配付が、簡単操作で可能です。



業務の安定稼働を効率よく実現する統合運用管理 Systemwalker Centric Manager

CHECK !

<http://www.fujitsu.com/jp/software/systemwalker/centricmgr/>

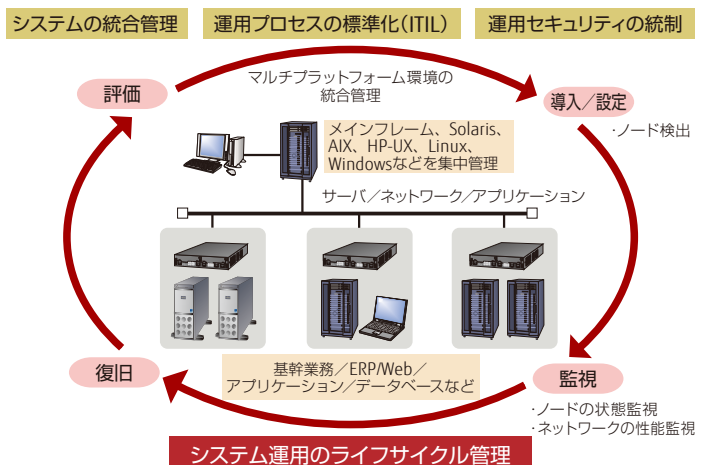
システム運用管理に必要な作業(導入/設定~監視~復旧~評価)を包含し、24時間365日システムの安定稼働と運用管理コストの大幅削減を実現します。また、ICT全般統制の監査に向けた安心安全な運用管理として管理者の操作制御機能や証跡管理機能も備えています。

■ マルチベンダー環境の統合運用管理

- 運用管理に必要な一連の機能をマルチプラットフォームで提供
- インストールレスでイベント監視とインベントリ情報収集が可能
- 他社の運用管理ソフトウェアとも連携して統合管理
- 管理サーバ二重化、メッセージ送達確認などで24時間365日稼働の信頼性を確保
- 旧バージョン製品との接続保証で長期間の利用も安心

■ ICT全般統制に向けた安心安全な運用管理

- 管理者の役割に応じた操作制御、オペレーターなりすまし防止でミスや不正を防止
- ログ収集~操作の追跡までの証跡管理により、ICT全般統制の監査にも対応



富士通製ネットワーク機器をオールインワンで管理 **Systemwalker Network Assist**

CHECK !

<http://www.fujitsu.com/jp/software/systemwalker/net-assist/>

■ 装置ビューによる詳細な監視

Webブラウザで装置の状態を忠実に再現したイメージを表示して、装置やインターフェースの状態をグラフィカルに把握できます。



GS/PRIMEFORCE シリーズのLANアダプター (ONAなど) から、IPCOM シリーズ、Si-Rシリーズ、SR-Sシリーズなどを集中監視します。最新機器も専用サイトから追加モジュールをダウンロードして監視サーバへ組み込むだけで、即時監視可能となります。

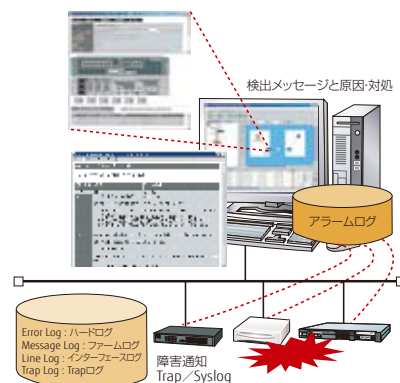
■ ネットワーク機器のグルーピング

監視対象機器を、お客様自身でサブネットやフロアといった単位で自由にグルーピングして表示することが可能です。

また、ラックに搭載される機器に対してping/ping6による各インターフェースの稼働監視が可能です。これにより、監視対象ネットワーク機器に加えてサーバなどのSNMP未実装の機器まで含めた稼働状態の変化をラック単位で管理・把握することができます。

■ 装置のシスログの収集・表示と障害監視

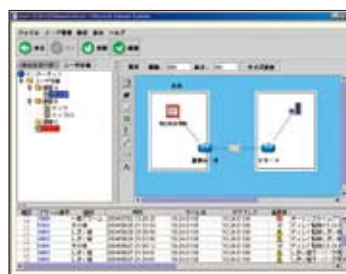
装置のSyslogを受信しリアルタイムに表示し、監視対象機器の障害原因をより詳細に絞り込めます。これにより、障害発生時点のアラームだけでなく、過去に遡っての根本原因の追求や解析が行えます。また、各種統計情報の閾値設定により、きめ細かな監視を実現します。



■ 柔軟な運用形態

単体導入によるネットワーク機器監視専用の小規模システム

から、Systemwalker Network ManagerやSystemwalker Centric Managerと連携しての高信頼・超大規模の統合運用監視システムまで、さまざまなお客様のニーズに幅広く対応できます。



ITインフラの統合管理 **Cisco Prime Infrastructure Solution**

CHECK !

<http://www.fujitsu.com/jp/products/network/wireless-lan/cisco-wl/pi/>

■ 分かりやすい画面デザイン

- 多くのメニューが日本語対応に変更
- Clients & Usersで端末と接続機器が図で表示



■ エンド・エンドで管理

- PIは、無線・有線ネットワークだけでなく、端末からサーバまでエンド・エンドでITインフラ管理可能



■ 運用性の向上

- 有線・無線LAN統合
- ユーザーサイトの可視化
- トラブルシューティング
- ネットワークポロジ



■ ネットワークの見える化

- ネットワークポロジとインターフェース稼働率

